



ベトナムにおける新型コロナウイルスによる感染に対する緊急支援(その2)
ーホーチミン・パスツール研究所(PIHCMC)への検査試薬の提供ー

2020年2月21日

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

ベトナムにおける新型コロナウイルスによる感染対策支援の第2弾として、JICAは、ホーチミン・パスツール研究所(PIHCMC)の要請を受けて、新型コロナウイルス同定の検査に用いる試薬(総額400万円相当)の調達を開始し、本日その一部(100万円相当)を引き渡しました。(注)

PIHCMCはベトナム南部20省を管轄しており、ベトナム保健省から、南部地域の患者の確定診断を行う唯一の機関として指定されています。

これまでベトナムは、2003年の重症急性呼吸器症候群(SARS)や、2004年の高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)など、様々な新興感染症の脅威に晒されてきました。これに対し、日本は、2006年から、政府開発援助(ODA)を通じて、こうした高危険度病原体の安全な取り扱いを可能とするバイオセーフティレベル3(BSL-3)実験室の整備とその運用能力強化を支援しています。

現在実施中の「感染症の予防・対応能力向上のための実験室の機能及び連携強化プロジェクト(2017-2022)」では、2名の長期専門家が常駐し、国立衛生疫学研究所(NIHE)やPIHCMCといった研究所とベトナム国内各省の検査能力の向上及び連携強化に取り組んでいます。特に、PIHCMCに対しては、より迅速な診断の実施が可能となるようBSL-3実験室の整備と能力強化を行ってきました。

JICAは引き続き、日本政府と連携し、新型コロナウイルスを含めた感染症対策への支援に取り組んでまいります。

(注)2月7日に既報のとおり、JICAは、対ベトナム新型コロナウイルスの緊急支援として、NIHEの要請を受けて、新型コロナウイルス同定の検査に用いる試薬(総額1,400万円相当)の調達を開始し、その一部(230万円相当)を引き渡しました。また、国立熱帯病病院への個人用防護具(PPE)の支援等も行っており、今回の供与も含め支援総額は約2,000万円相当となる予定です。

○本件に関する問い合わせ

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

11Fl., Corner Stone building, 16 Phan Chu Trinh, Hanoi, Vietnam

Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 137) 担当: 高木